



役立っている ―自尊感情の醸成―

◆人が幸せに暮らす上で、自分が他の人や集団、社会のために「**役立っている**」という実感（自己有用感）は、極めて重要です。

◆**ウェルビーイング**の視点でいえば、私たちが**社会的に良い状態**にし、**精神的な安定**をもたらします。



◆子供たちにとって学習や学校生活の基盤は、学級です。**学級の係活動や当番活動の在り方を、子供の自尊感情の醸成という観点から不断に見直し、工夫改善を図る**ことは極めて重要です。係活動の中に名ばかりのものがあったり、複数の子供が担当するため、実際活動に携わらない子供がいたりすることはないか、学級担任による確認が必要です。

◆**全ての子供が自身の学級において大切な役割を担い、それを果たすことで学級への所属感と役立っている喜びを実感できるようにしたい**ものです。

◆人は元来、自分一人の喜びだけでは満足が得られないようにできていると考えます。**学校や家庭、地域社会の中で、仕事や役割を通して人に喜びを与えたり、役立ったりすることで、満たされる**のではないのでしょうか。

停滞は退歩

大リーガー 大谷翔平

去年がそこそこ良かったので、去年と同じような成績を残そうと思っていたら、その基準をクリアするのさえ難しい。

出典：「大谷翔平は、こう考える」（桑原晃弥著 PHP文庫）

※ 「常に一步前進することを心がけよ。停止は退歩を意味する」という、野村徳七（野村證券、創業二代目）の言葉を彷彿とさせます。